



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2004.11.18

No. 28 - 10

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

## 2004 冬期運航シンポ in 札幌

# 各方面から80名を越す参加者の熱気！

(日乗連、札幌管制部、全気象、自衛隊、  
航空施設管理、マスコミ、他)

定例の日乗連 AA 委員会(事故対策委員会)主催「冬期運航シンポジウム」が11月9日~10日の二日間に渡り地元 A-Net 乗組、HAC 乗組の協力により、参加者80名(延べ120名)を越える熱気の中、札幌にて開催されました。

9日は AA 委員会による「冬期運航の基礎知識」「航空事故と刑事責任」、ATS 委員会から「悪天回避」、全気象から「北海道内空港の気象特性」、10日には JPU(日本航空ジャパン乗組)有志による「クランフィールドフィードバック」、HUPER 委員会から「CISM(PTSD等のストレスマネジメント)」等、多岐に渡る講演が多数行なわれました。

参加者からは、各公演内容が大変有意義であったとのコメントが数多く寄せられました。「悪天回避に伴う ATC の問題」については乗員・管制官を交えた意見交換や、「北海道内各空港の気象特性」の紹介では具体的な天気図を用いて実践的な解析方法の紹介、「クランフィールドフィードバック」でのインタビューテクニックでは、航空事故調査先進国イギリスで事故調査官から直接学んだインタビュー技法の演習を行い、その難しさを直接参加者に知ってもらうことが出来ました。また FDR の解析に於ける注意事項の解説や最近注目を浴びている大規模災害、大事故に遭遇した人々へのストレスケアの紹介は、日乗連の取り組みの幅の広さを改めて知ってもらう事が出来ました。なおシンポジウムの様子は当日夜の NHK ニュースでも報道されています。

今後も日乗連 AA 委員会では航空安全シンポジウムの地方開催を積極的に推し進めます。

< 今後の日程 >

2005年2月8日~9日 鹿児島 / 2005年7月12日~13日 福岡



< 2004 冬期運航シンポジウム in 札幌 講演内容 >

-11月9日-

「冬期運航の基礎知識」 (日乗連 AA 委員会 舘野 洋彰)

「悪天回避」 (日乗連 ATS 委員会 溝添 勉)

「北海道内空港の気象特性」 (全気象 千歳分会 小林 雅)

「航空事故と刑事責任」

・日航 706 便事故裁判 (日乗連 AA 委員会 舘野 洋彰)

・日航 907 便事故裁判 (日乗連 事務局長 榭谷 俊次)

-11月10日-

「クランフィールド/フィードバック」

・インタビューテクニック (JPU 事故調査部 柏倉 健弘)

・FDR 解析 (JPU 事故調査部 塚田 洋一)

「CISM について」 (日乗連 HUPER 委員会 本江 彰)

## 12月4日の大学習会

### 「航空再編と労働組合」に多くの参加を！

日時：2004年12月4日(土)、12:30開講～17:30終了予定。

場所：大田区民センタ - アプリコ B1 展示室。(JR 蒲田駅東口より徒歩1分)

参加：各組合の役員・担当者を含む、全組合員が参加可能です。

(途中参加・退場等の制限はありません)

携帯資料：学習会の資料として、先日配布した「航空再編と労働組合」(航空労働研究会報告書)を持参して下さい。

「航空再編」のうねりの中で、航空の安全とこれを支える労働者の生活と健康の両立のため、労働者・労働組合の権利に関する、基礎知識と知恵を身につけよう！